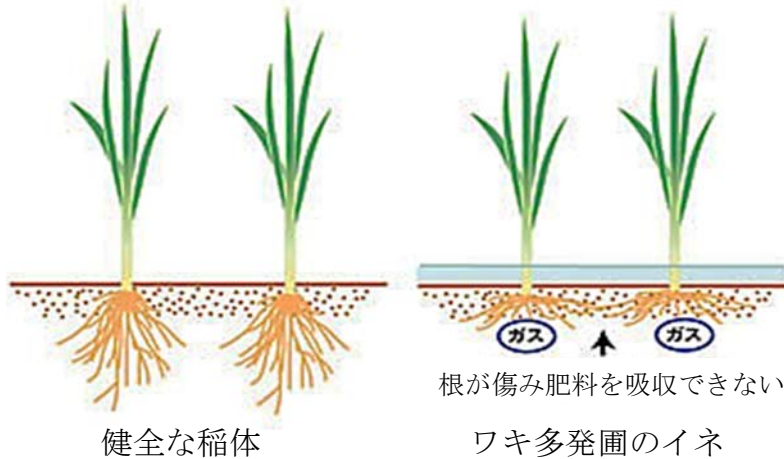


分けつ発生時期に入りました 生育停滞や過剰生育に注意！



！ワキの発生に注意！

気温が高くなり管内全体でワキの発生が多くみられます。葉色が淡くなってきたら危険信号です。そうなる前に適度に水の交換を行いましょう。すでに表層剥離やワキが多発している場合は夜干しもしくは1～2日軽く干してガス抜きをしまししょう。



←周りとは比べ黄化して
る。

☆中干しは適期に行いましょう☆

《中干しの効果》

- ①無効分けつの発生を抑制し、稲体の健全化が図れます。
- ②根張がよくなり、登熟期の高温に強くなります。
- ③倒伏しにくくなります。
- ④過剰生育を抑えるので乳白米の発生を抑え、品質の良いお米になります。

《中干しのポイント》

- ・目標茎数の8割を確保したら中干し適期です！（田植え後30日が目安）
- ・中干しの程度は、圃場条件（乾田・湿田）を見て、小ヒビが入る程度又は軽く足跡がつく程度まで行いましょう。

表1. 各品種の中干し開始時期の目安

品 種	目標穂数	中干し開始時茎数	50株植え	60株植え
	(本/m ²)	(本/m ²)	(本/株)	(本/株)
コシヒカリ	350	280	18	15
こしいぶき	400	320	21	18
ゆきの精	400	320	21	18
ゆきん子舞	400	320	21	18
あきたこまち	400	320	21	18
ひとめぼれ	420	340	22	19
こがねもち	370	300	20	17
わたぼうし	350	280	18	15

※分けつは昼夜の温度差が大きいとどんどん増えます。

☆溝切りを行いましょ！ <10～8条間隔>

- ①中干しをする際に溝切りを行っておくと、その後の水管理がしやすくなります。
 - ②少ない水でも溝を通ることで圃場全体にスムーズに行き渡ります。カドミウム吸収抑制対策のための湛水管理、フェーン時の緊急灌水に有効です。
- ※湿田は2回切りが理想です。

☆品質向上に！中間追肥☆

品名	成分	特性
けい酸加里プレミア	ケイ酸34%、加里20%、 苦土4%、ホウ素0.1%	「く溶性」加里とケイ酸が主成分。 登熟期高温でも登熟向上。
マルチサポート1号	苦土15%、マンガン0.5%、 ホウ素0.2%、微量要素入	イネの成長に必要な要素をバランスよく配合した総合微量要素入り苦土肥料。登熟向上。
ファイトアップ	窒素3%、加里10%	10aあたり500g投げ込み。 根張アップ効果大。菅谷支店で実証済み。
スーパーシリカ・ プレミアム	可溶性ケイ酸30%、 く溶性苦土2%	倒伏軽減。 登熟期高温でも登熟向上。
ウォーターシリカ	可溶性ケイ酸17%、	水口施用可。倒伏軽減。 登熟期高温でも登熟向上。

とりこぼし雑草対策

ほとんどの雑草に除草剤で対処できます。
特に今回、新剤のレブラス1キロ粒剤を採用しました。
レブラス1キロ粒剤は、クリンチャーバスに近い効果が期待できる粒剤です。
また、収穫60日前まで使用できますので、6月末まで使用可能です。
※湛水散布ですので、水持ちの悪い圃場は注意が必要です。

他の薬剤等詳細は、注文書を参考にしてください。
雑草のとりこぼしがでた場合は、早めに各営業所又は営農センターに相談ください。

！補植苗はいもち病の発生源となるので速やかに撤去しましょ！

わたぼうし・新之助・いただきは特にいもち病に弱い品種です。

！カメムシ類の防除は雑草管理が重要です。計画的な草刈りで斑点米被害を抑えましょ！

草刈りはカメムシの生息域及び産卵場所を少なくします。

1回目の草刈り時期は、6月3日(土)～6月12日(月)です。

気温の高い日が続きます。水分補給はこまめに！

農作業は涼しい恰好で、無理をせず熱中症に気を付けましょ！！